

平成 18 年 10 月 吉日

テラヘルツテクノロジーフォーラム 第 5 回研究会・見学会のご案内

テラヘルツテクノロジーフォーラム 企画委員会

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

テラヘルツテクノロジーフォーラムでは、テラヘルツテクノロジーの最先端を皆様に分かりやすくお伝えする「研究会」と研究現場の「見学会」を定期的におこなっております。

第 5 回目は、独立行政法人情報通信研究機構(東京小金井)において開催します。

日本で初めて発振に成功した、テラヘルツ QCL、その作成を行っているクリーンルーム、気球搭載サブミリ波観測装置などを見学します。研究会では、今回特別に欧州宇宙機関からドゥマグト博士をお招きし、テラヘルツリモートセンシング技術に関する講演、情報通信研究機構テラヘルツプロジェクトの瀬田博士による大気減衰計測と寶迫博士によるテラヘルツ QCL に関する講演をしていただきます。

奮ってのご参加をお願いいたします。

敬具

プログラム 13:00 ~ 17:00

研究会の部(13:00 ~ 14:45)

13:00 ~ 13:55 「Terahertz Technology for Space and Earth Applications」

Peter de Maagt (European Space Agency)

13:55 ~ 14:20 「テラヘルツ時間領域分光法による水蒸気のスpekトルの圧力広がり係数測定」

瀬田孝将 (情報通信研究機構)

14:20 ~ 14:45 「テラヘルツ量子カスケードレーザーとその応用可能性」

寶迫 巖 (情報通信研究機構)

- 小休憩 -

見学会の部(15:00 ~ 17:00)

A、B、C の 3 グループ各 15 名に分かれて見学。

THz - BASIC ラボ(本館 1F) QCL など

B - SMILES (6号館 1F) 気球搭載サブミリ波装置

フォトニックデバイスラボ(PDL) クリーンルーム, MBE など

開催日時 2006年12月5日(火) 13:00 ~ 17:00

開催場所 独立行政法人情報通信研究機構 本館 4F 国際会議室

〒184-8795 東京都小金井市貫井北町 4-2-1

TEL(代表): 042-327-7429 URL: <http://www.nict.go.jp/about/hq.html>

定員 研究会 150名, 見学会 45名(定員になり次第締め切らせていただきます。)

参加費 一般会員 無料、個人会員 1,000 円、協賛研究会・委員会の会員 2,000 円、非会員 3,000 円、学生 500 円 (研究会のみの場合も同じ)

主催 テラヘルツテクノロジーフォーラム

協賛 応用物理学会テラヘルツ電磁波技術研究会

電子情報通信学会テラヘルツ応用システム時限研究専門委員会

日本分光学会テラヘルツ分光部会(予定)

お問い合わせ・参加申し込み

下記のホームページから受け付けています。多くの方々のご参加お待ちしております。

<http://www.terahertzjapan.com/event2006kenkyukai.html>

TeraTech テラヘルツテクノロジーフォーラム事務局

teratech@terahertzjapan.com

Tel/Fax: 075-753-375
